

平成 20 年度  
第 3 期 鹿野地区地域審議会  
会 議 録

日 時：平成 20 年 5 月 22 日（木）

場 所：周南市鹿野総合支所

## 【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章の唱和
- 3 鹿野総合支所長あいさつ
- 4 議 事
- 5 閉会

## 平成 20 年度 第 3 期鹿野地区地域審議会 会議録

日 時 平成 20 年 5 月 22 日 ( 木 ) 午前 9 時 30 分 ~ 午前 11 時 30 分

場 所 鹿野総合支所

出席者 ・ 委員 13 名 ( 欠席 2 名 )

青木澄代、石川光生、一原英樹、岩田キミ、片山研治、金子静雄、倉益 勲、小林周子、  
寺戸光政、廣本武生、福田清治、三浦美津代、山崎武夫 ( 敬称略 )

・ 事務局 6 名

総合政策部 山下部長、鹿野総合支所 神田総合支所長、広実次長、

企画課 原田課長補佐、中村主任、鹿野総合支所 地域政策課 小田課長補佐、神田主査

資 料 新市建設計画進捗状況報告書

### 会 議 議 事 録

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

鹿野総合支所長

- ・ 昨年 10 月より第 3 期の委員として就任していただき、3 回の勉強会において、鹿野地域の検討課題について協議をされていることに対しお礼を申し上げます。引き続き鹿野地域の活性化に向け、ご審議いただきますようお願いいたします。
- ・ 今回は合併の検証ということで、新市建設計画の進捗状況報告について検討いただくことにしております。皆様にご意見、ご要望を賜り、総合計画の後期計画に生かして参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### 3 議事 ( 要約 )

会 長 それでは議事にはいります。(1)新市建設計画の進捗状況調査報告について事務局より説明をお願いします。

事務局 新市建設計画の進捗状況調査報告について説明

会 長 説明が終わりました。ただ今の説明につきまして、何か質問がございましたらお願いします。

委 員 当初の計画時より三位一体の改革等で予算ベースが変わってきたと思われ  
ます。新市建設計画を見直す作業が必要になってきているのではないのでしょうか。  
市長が変わると新たな事業を入れ込むこともあります。実施見込みのないものやど  
こまで実現可能であるのか、どの分野を削減するのかといった新市建設計画の見直  
し作業をしておられるのか、そのまま継続するのかその辺の状況をお伺いしたい。

**事務局** 新市建設計画の検証ということで示すのは今回がはじめてです。新市建設計画を包含した形でまちづくり総合計画が策定されています。平成17年度から平成21年度までの5年間で前期計画が終り、平成22年度から後期計画が始まります。今回の新市建設計画の進捗状況報告資料に対し、地域審議会において、鹿野地域においてどの事業が必要なのか、また、事業の優先順位をつけていただくなどご意見やご要望を出していただき、それを参考にして後期計画への作業へ入っていくことにしたいと思っています。今後まちづくり総合計画の策定委員会を設置し、地域審議会と一緒にやっていこうと考えています。

**委員** 計画と財政とは密接な関係にあります。新市建設計画で約束したことはある程度最大限生かしていくことが住民にとって大事なことであります。市長が変わって、住民の付託に答えるために新しい事業を入れられると財政的に圧迫されることになるとは思われますが、その辺りの整合性はとれるのでしょうか。

**事務局** 後期計画へ向けて内部においても検討していきますが、皆様方にも事業の優先順位をつけていただくなど、協議をさせていただきながら作成していくこととなります。

**委員** 新市建設計画に載っていないものについて、その後必要となったものについては、まちづくり総合計画に載せていくと考えてよいのですか。新市建設計画とは別物となるのですか。ここで必要だということが起こったときは、新市建設計画に載せることができるのですか。

**事務局** ここで出されたもので新しいものが出てきたらということですが、新市建設計画に載せるメリットについては、合併特例債が使えるかどうかということですが、合併効果が出せるものについて適用されることになっており、載っている事業に対し全部使えるということではありません。鹿野地域には過疎債の適用もあります。新市建設計画に載っていない事業についても、実施しております。全体として総合計画として作成していきます。この報告書の一覧を見ると、熊毛地域なら道路、徳山地域なら教育関係とか地域により違いがありますが、鹿野地域なら道路、林道、天体観測施設、教職員住宅の改修等が未着手、県道については、下松鹿野線が未着手となっています。県道については、要望していかなければならないと思っています。

**委員** 5ページに実施状況が載っていますが、割合で出したら鹿野地域では全体29件中、完了、継続、着工済が48パーセントで、検討中はなく、未着手は道路、プール、テニスコート、天体観測施設等15件となっています。教職員住宅の改修については、現状の教職員については通いがほとんどなので住宅の必要性がないと思われれます。地域審議会において、15件の未着手の事業について、本当に必要なかどうか、事業実施の優先順位もつけていくなどの検討をしていくことが必要になるのではないかと思います。

**事務局** そのことをお願いしたいと思います。

**委員** 市道の改良において、未着手の原因は財政的なこともありますが、地元からお願いすれば、担当課から「用地については、地元で交渉済でない」と実施できま

せん」と言われています。そのことが事業を進める上で足かせになっていることもあります。

**会 長** 旧徳山市の場合は買収なのか、提供なのでしょう。鹿野の場合、公共施設につながるものは買収、それ以外は寄付であったと思いますが。

**事務局** 補助事業は買収でやっている場合もありますが、局部的にやる分は提供になっています。ここに載っている事業は全線改良となっていますが、全線改良なのか一部改良なのかによっても、手法によっても異なると思われます。1.5車線道路もありますが、目的からすると全部広い道路がよいのかどうかという議論もあります。

**委 員** 県が実施する分については買収で、それ以外については提供するという事になっていったと思います。議会でも問題になったことがあります、解決できなかったということがありました。

**事務局** 市街地と山間部では、土地の単価が違うので難しいが、徳山、新南陽においては、山間部の改良はやっていない状況にあります、やり方を決めて進めている状況です。

**委 員** あの事業この事業もやりたいが、予算がないので実施できないということになっていると思いますが、3年から5年先でなく、もっと先の孫の代を考えたスパンで計画を考える必要があるのではないのでしょうか。一昔前まで徳山駅前、銀南街は人が動けないほどおりましたが、車の普及等により人の流れが変わりました。新南陽の商業施設については、民間活力で起こったことだと思います。実施状況を見ると、産業振興の欄を見ても道路や林道を造れば、よくなるとは思いますが、レクリエーション関係も3項目しかなく、未着手となっています。もっと民間活力が出るようなことを見直さなければいけないと思います。動物園については、人気を博していますが、「ツヨシ君」人気のあとのことはどうなっていくのでしょうか。動物園の計画をたてようということですが、あそこから鹿野や熊毛に移転しようということがあってもよいと思います。そこは面積も広いし、バイパスもついています。一等地として動物園をおいて置く必要があるのでしょうか。ひいては都市部を広げることも考えられます。鹿野には高速道もあり、広島や博多からでも1時間から2時間で来られる状況があります。現状を見ながら30年から40年先を見ながら計画を立てて欲しいと思います。ファンタジアファームの計画の位置づけはどうなっているのですか。観光施設の整備と都市部との交流の関係、都市と農村の交流の具体的な事業はどうなっているのですか。

**事務局** ファンタジアファームは市の農業公園的な位置付けになると思います。リサイクルプラザが新南陽地域に予定されていますが、新南陽地域だけでなく全市的事业としてやっている状況と同様です。ファンタジアファームは鹿野地域に想定していますが、全市的事业としての扱いにしています。農業関係での計画になりますが現在の所、具体的な検討にも入っておりません。豊鹿里パークは、規模的には違いますが、これと重なり合っている所がありますので、どう連携をとっていくかは計画の中で考えていかなければならないと思います。

**委員** 「シャクナゲ」という売店がありますが、鹿野に道の駅を計画したときに建設省、農林省と所管が違いマッチングしていない所がありました。もっとひざを交えて話をしていけばいいものができると思われま。

**事務局** 道の駅の認定は、修景施設、駐車場、トイレの整備、情報発信、地域との交流ということになりますが、公共施設だということが必要だと思います。合併して多くの方が鹿野を訪れています。これも都市間の交流だと思います。ここではハード面をあげていますが、ソフト事業として多くの方が例えば大潮のほたるまつり、ふるさとまつり、自然のよさ、食べ物のよさを求めて鹿野に上がっています。

動物園は、今年度500万円をかけてF S調査(実現可能調査)を予定しています。昭和22年3月に徳山公園という公園の中にできた動物園であります。動物園がよそへいってもあそこは、公園として残ります。住宅地としては規制がありますし、防災的な機能も整備したいと思っています。中心市街地の中の動物園としての特徴を生かしたいと思って今年度F S調査を実施します。市街地の活性化、他から人を呼んでくる、癒しの場として展開したいと思っています。

**委員** 公営住宅のことですが、大地庵、柏屋住宅についてはどうされるのでしょうか。

**事務局** 今年度大地庵住宅については、解体する予定になっています。建替の予定です。

**委員** 高速隊の住宅を払い下げてそこを市が買い取り使用することはできないでしょうか。入居者がいないので、もったいないと思います。鹿野学園の寮として独身の方がおられるので、使用できないのでしょうか。

**事務局** 市営住宅については、住宅ストック活用計画があり、現在約4,000戸あるのを3,000戸位まで減らしていく方向であります。この住宅の位置付けは分かりませんが、定住の促進からすると効果があると思われま。高速隊の住宅については、県の方でも議論しており、県では有効活用する計画はありません。既に建設後20数年経過しており、活用するには相当の修繕費用もかかると思われま。やまなみ荘や博愛病院、鹿野学園の職員住宅として有効活用したいという要望もありますが、市として確保するとすれば、公営住宅として整備しなければなりませんが、その方向付けはありません。民間で購入してもらえばよいのですが、今の所民間として購入するということになっておりません。

**会長** 借り上げ住宅はあるのですか。

**事務局** 周南市ではありません。宇部市ではやっています。市営住宅になれば色々規制がかかり、例えば独身は入れないとかの条件があります。

**委員** ゴミの収集において、豊鹿里パークの近くに老人世帯がありますが、遠距離の所にゴミステーションがあり、老人が運ぶのに大変なので、収集方法を変えられないのですか。徳山地域では一日何往復もしていると聞きました。

**事務局** 徳山地域においてもゴミカレンダーのとおり実施しています。往復しているのは、民間の事業系のゴミ収集だと思われま。市の制度としてゴミ収集の変更はできないと思います。コミュニティ関係、福祉の関係で支援があるのではないかと思いますので、担当課の方へ伝えておきます。

**委員** 鹿野地域内には古い公の建造物がたくさん残っています。広告等で徳山地域や県の物件を入札にかけて処分をしている状況があるようです。天神山下の教職員住宅については何十年も放置してあります。解体すれば、公園として使用できるし、使用する気がなかったら売却すればよく、その辺りをよく調査して欲しいと思います。旧生産センターは周辺に悪い環境を与えており、解体に2,000万円かかると聞いていますが、見積もりを取れば、400万円から500万円で解体できると思います。大地庵自治会の中をつなぐ生活道路も考えながら今年度中に調査して予算組みをして欲しいと思います。危険な建物は放置しないで、調査し処分して安心・安全なまちにして欲しいと思います。

**会長** 11月27日の市長との懇談会においても要望はしています。

**事務局** 旧生産センターについては、今年度の後半になりますが解体の予定になっています。財産管理と道路計画とは直結にはなりません、整理する予定です。

**委員** 「文化ホール」の件について、市長と語る会で、市長は検討すると言われましたが、やる気がないのであれば、はっきり言って欲しいと思います。現講堂については、長くは使えないし、管理できないということで、解体しようということにもなるかもしれません。過疎債が取れる間にやる目途をたて、コアプラザに隣接して作るということの後期計画の中に入れてもらいたいと思います。

**会長** 提言の中に入れ込んでいきたいと思います。

**委員** 財政計画の中で歳入合計260億、歳出合計327億の差はどう考えておられるのでしょうか。新市建設計画だけではないと思いますが、この70億あまりの差はどうなのでしょう。

**事務局** 計画では歳入・歳出は同じになるのではありますが、15年度から19年度の合計したものが上がっているのですが、決算の所で例えば15年度の所の17億、その分が翌年の繰り越し分に上がっているというふうに、繰越金に上がっています。

**委員** 財政計画の最終的な調整はどうなっているのですか。全体の話の中であると思いますが、単純なことではないと思いますが、もう少し説明があれば、分かりやすく、理解しやすいと思います。

**事務局** 各々の所で15年度は17億差、16年度は20億差、18年度は14億の差があり、その積み重ねが繰越分として、翌年に積んでいくこととなります。積み残しということで残っていますので、いい表現でなかったかもしれません。グラフをみていただければ、違いを出しております。借金するにも国は赤字国債でできますが、市は仕組みの中に組み込まれて借りております。

**委員** 婦人会の中で環境美化作業として、国道315号沿線（シャクナゲから川花まで）の植栽、除草を行っています。婦人会も人数が少なくなり、高齢化も進んでいることもあり苦労している状況にあります。これから暑い時期に向かい、水の確保が大変になってきます。今後、国体やコアプラザの整備に向けての環境整備の一助としてこの事業に取り組むにあたって、他の団体や行政の力を借る必要がありますのでご協力をお願いします。

**事務局** 婦人会長が市長と話をされています。花いっぱいを迎えることはいいことだと思います。このことは、中期的に取り組んでいくこととなりますので、コミュニティ、自治会連合会等が連携して取り組む必要があると思います。

**会 長** 今回のクリーンアップ作戦でも取り組んでいます。

**事務局** 緑の基本計画の中で取り組んでいます。これは単に緑という森林だけのことでなく、花いっばいのことも含めて都市開発部で協議しています。国体においても花いっばいのおもてなしをしていくことにしています。鹿野の体育館ではハンドボールが会場になりますので、学校へお願いし、子ども達にプランターに花を植えてもらうことにしています。これを機会に花いっばい運動を県としても展開していこうとしています。宇部市においては、パートナーシップロード、ボランティアロードをやっていますが、そういったことを市民と協働でやっていこうという姿勢ですので、よろしくお願いします。

**委 員** 母子センターで現在「憩いの広場」ということで障害者の方が活動しておりますが、コアプラザができたなら母子センターはいらないということも上がっておりますので、折角活動しているのに不安がありますので、使用できるよう確約していただきたいと思います。

**事務局** コアプラザ移転後は母子センターは閉鎖する方向です。行政財産から普通財産へ移行することになります。行政が公民館、診療所、母子センターも管理し、面倒を見ることにはなりません。団体と話をするなり、地域住民の声を聞くなり、相談しながらやっていくことになります。

**委 員** 今後の審議会の運営に絡むことにもなりますが、「元気なまちにしたい」というあいさつがありました。元気なまちとは裏腹に集落が衰退しています。自分の住んでいる集落においても10年に一人赤ちゃんが生まれるかどうかということで、このことは皆さん危惧をされていて、興味の高い部分かと思います。最近周南市以外の方も含めて鹿野の地に色んなものを求めて来られる方が増えている傾向にあると思います。人口は減り、高齢化しているが、一方では交流人口は増えています。ここにまちづくりのヒントが隠されていると思います。鹿野に住んでいると日常的なことが当たり前になっていますが、外から見るとすばらしいと感ずることがたくさんあります。その辺を一部の委員が絞った意見を出すということも大事ですが、もう一度、色んな視点で見れるアンケートをとるかという方向付けをして仕切り直したらどうでしょうか。そうすることにより、10年から20年のスパンで、衰退していく一方で、小さな希望に繋がると思います。方向付けができれば、審議会として価値がでてくると思いますので、事務局として何か前に進んでいけるような新しい提案をして欲しいと思います。

**事務局** 色んな勉強をしていく中で、ハード面よりソフト面を重視してもらい、「都市と農村の交流が大事である」ということで検討してもらっていますが、これは言われていることと一致していると思います。アンケートをとるのがいいのか、提案を頂くのがいいのかあると思いますが、皆さんのネットワークの中で色んな情報をもって提案していただくのがいいのではないかと考えています。行政としても交流のことは、重要なテーマだと思って、活性化につなげることは予算の制約のなかで



はありますが、やっておりますので、情報提供し、意見を聞きながら一緒にやっ  
ていこうと思っています。人輝きプロジェクトの中に「我がまち発見」という事業が  
あり、自分のまちを知って、愛していこうという取り組みがあります。鹿野では景  
観セミナーも開催しています。また、三虫クラブの体験学習、大潮、渋川の活動が  
表彰されていることもあります。こういったことを鹿野地域だけでなく、外へ向け  
て情報発信していく取り組みをされたいのではないのでしょうか。

**委員** N7の埋め立て事業について、補助金として5億円位出すことになってい  
ますが、進捗状況を市民に広報なりで知らせて欲しいと思います。

**事務局** N7については、山口県と東ソーが埋め立て事業として行っています。周  
南市の一般廃棄物処理場としてもやっています。市の補助金として20パーセント  
出すことになっており、完成は25年予定で、進捗率は24パーセントです。遅れ  
ておりますので、市長も国へ要望しています。市民への周知は分かりやすい予算書  
でお示しすることにしていきます。

**会長** 今後の審議会の運営につきまして事務局として案がありますか。

**事務局** 9月までに検証に対する提言を出したいと考えていますので、月1回のペ  
ースで協議会の開催を考えています。

**会長** 6月の協議会は18日の午前9時～11時までの開催をお願いします。

以上をもちまして地域審議会を閉めたいと思います。

## 4 閉 会